

2023年7月26日(水)開発途上国ビジネスニーズセミナー(地球環境分野)
当日の質問と回答

質問	回答
<p>ラオスは市場規模が小さく、政府の予算も限られるので、BtoGも限定的とのことでした。ビジネス展開がなかなか難しそうにも感じたのですが、その中で、ラオスで事業展開することのメリットについて教えていただけますか</p>	<p>ラオスには成熟していない業界が多いため競合他社が存在しないケースがあり、また親日国です。ラオスにおけるビジネス展開には多くのハードルがありますが、解決すべき開発課題は多い(=ビジネスチャンスは存在する)ため、JICA事務所では進出意欲のある本邦企業に対しては積極的にご支援をしていけたらと考えています。</p>
<p>JICAケニア事務所から、技術協力や資金協力と、民間企業のビジネスの連携について話がありました。具体的にどのような連携がありえるか、アイデアがあれば教えてください。</p>	<p>例えば、廃棄物管理の法整備に関する支援と民間リサイクル事業の連携、森林保全に関する公的支援と木材利用効率化事業の連携、漏水防止の支援と無収水対策技術を持つ企業との連携などは、相乗効果があると考えています。 いずれの場合も、公的支援と民間企業のビジネスの方向性のすり合わせが重要で、ケースバイケースで検討する必要があると思います。</p> <p>※回答の詳細は動画をご視聴ください。 https://www.youtube.com/watch?v=v-FHFCXbPaM</p>
<p>JICAペルー事務所から、ビジネスパートナー候補について話がありましたが、もう少し詳しく教えてください。</p>	<p>ペルーには日系人が多く、日本語を話す人も多くいますので、ビジネスパートナーの候補となる可能性があります。また、スタートアップ企業も増えつつあるため、パートナー候補となりえると思います。</p> <p>※回答の詳細は動画をご視聴ください。 https://www.youtube.com/watch?v=v-FHFCXbPaM</p>
<p>マレーシア事務所の説明資料で、廃棄物関連の事業が多く紹介されていました。マレーシアで廃棄物の関連のビジネスに取り組む際のポイントについて教えてください。</p>	<p>廃棄物関連のビジネス展開は、政府との信頼関係が構築できるか、NGOや民間企業など信頼できる地元のパートナーを発掘できるかがポイントです。様々なパートナーと組んで活動することが重要となります。</p> <p>※回答の詳細は動画をご視聴ください。 https://www.youtube.com/watch?v=v-FHFCXbPaM</p>